

1 PLAN(目的・概要)

一般事務事業

政策名	物流・産業	25年度事業・施策評価結果			責任者	企画調整室 港湾運営企画担当 課長
施策名	国際・国内海上輸送機能の強化	成果	コスト			
事務事業名	コンテナターミナル管理運営体制の見直し	延伸	維持	維持	連絡先 連携課	052-654-7969
目的	対象(誰・何を)	名古屋港のコンテナターミナル			事業 期間	～平成29年度
	意図(どうい う状態にしたいか)	管理運営を効率化する				
概要	名古屋港のコンテナターミナルの管理運営の効率化を図るため、港湾運営会社制度の導入を行い、管理運営体制の見直しを行います。				根拠 法令等	港湾法、会社法
26年度の実施予定	名古屋港の特例港湾運営会社の業務開始に向けた調整とともに、四日市港の特例港湾運営会社と名古屋港の特例港湾運営会社の平成29年の経営統合に向けて、関係者との打合せを実施します。				実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
					関連 シート	

2 DO(実施)

26年度に実施した 内容・結果	名古屋港の特例港湾運営会社の業務開始に向けた調整とともに、平成29年の経営統合に向けて、関係者との打合せを実施しました。					
コスト	単位	24年度	25年度	26年度	平均	備考(費用の増減理由等)
事業費	千円	17,350	4,410	27,972	16,577	
人件費	千円	11,331	17,520	10,571	13,141	
合計	千円	28,681	21,930	38,543	29,718	

3 CHECK(検証)

指標名		24年度	25年度	26年度	最終目標	29	指標の説明・目標値の考え方	外部要因
伊勢湾における港湾 運営会社の業務開始 に向けた検討会 議の回数(全8回) (進行管理型)	目標	-	-	1	8(累計)		伊勢湾における港湾運営会社の業務開始に 向けた検討会議の回数として、四日市港関係 者との実務者会議の回数を設定	
	実績	-	-	1				
事業進捗状況(26年度)		順調			やや遅れ・遅れ			
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)	目標							
	実績							
事業進捗状況(26年度)								
目標の達成度に対する評価 (外部要因等を踏まえた)		伊勢湾における港湾運営会社の経営統合に向けて、順調に進捗しています。						
必要性・有効性・効率性の検証		評価	評価に関する説明					
必要性	本組合が関与し、どうしてもやらなければならない事業か?	<input type="radio"/>	港湾法改正に対応し、利用者の利便性向上を目指す事務事業として、港湾管理者である名古屋港管理組合が関与し、進めていく必要があります。					
	事業規模や対象範囲は利用者ニーズや社会環境にあっているか?	<input type="radio"/>						
有効性	事務事業は、施策達成に貢献するか?	<input type="radio"/>	名古屋港のコンテナターミナルの管理運営を効率化することは、上位施策である「国際・国内海上輸送機能の強化」につながると考えております。					
	期待どおりの成果が得られているか?	<input type="radio"/>						
効率性	最小のコストとなっているか?	<input type="radio"/>	事務の実施は、最小限の人員体制で行っております。					

4 ACTION(取組)

施策評価結果	27年度以降の方向性		判断理由
	成果	コスト	
継続	維持	維持	・名古屋港の特例港湾運営会社である名古屋埠頭㈱と名古屋コンテナ埠頭㈱の早期の合併実現を目指し、鋭意取り組むとともに、四日市港の特例港湾運営会社との平成29年の経営統合に向けて、関係者と十分な検討を進めていく必要があるため。
課題	27年度以降の取組		
四日市港の特例港湾運営会社と名古屋港の特例港湾運営会社の平成29年の経営統合に向け、検討を進めていく必要があります。	京浜港、阪神港など他港の状況等を把握しながら、関係者との十分な調整を行ってまいります。		